

平成29年度 美術Ⅱ

教科(科目)	美術Ⅱ(芸術)	学科(コース)・学年	3学年
使用教科書	日本文教出版 美術2		
副教材等	なし		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	美術Ⅰ履修者

1. 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 指導の重点

- ① 絵画、彫刻、デザイン等の制作を通し、自然、自己、社会などを見つめさせ、さまざまな表現方法、表現技能を学習させるとともに、作品完成時の成就感を味わわせる。(表現する力)
- ② さまざまな作品を鑑賞し、時代、民族などによる表現の違いについて学ばせ、美術文化の理解を深めさせる。(鑑賞する力)
- ③ ①、②について自分の作品及び鑑賞レポートについて第三者に伝える力を養う。(言語能力としての「伝える力」)

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1	○オリエンテーション	・美術Ⅱの学習内容についての導入	
	○木で魚を作る(彫刻)	・木を使ってのさまざまな表現方法、技術、創意工夫する力を養う。 ・小刀の使い方を習得させる。	アイデアスケッチ／作品／レポート／取組む姿勢
3 選 択 課 題	○絵を読み解く(鑑賞)	・印象派以前の絵画を中心に、絵画に込められた制作者の意図、当時の時代背景などを理解させ、作品に親しむ心を育てる。 ・調べたことを第三者に伝える力を養わせる。	レポート／発表／取組む姿勢
	○空想画(絵画)	・発想力、表現力、描写力を養わせる。	アイデアスケッチ／作品／レポートなど／取組む姿勢
	○色で表現する人物像(デザイン)	・構成力、表現力、色彩感覚を養わせる。	アイデアスケッチ／作品／レポートなど／取組む姿勢
	○鑑賞レポート	・作品を鑑賞し、思考力、創造力を養わせるとともに、作品について調べさせ、理解させる。 ・感じたこと、調べたことを第三者に伝える力を養わせる。	レポートなど／取組む姿勢

4. 評価の観点

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
<p>具体的な評価の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 練習課題 ・ 制作した作品についてのレポート / 鑑賞レポート ・ 学習に取り組む姿勢 			

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

授業を通して創造力を養い、美術に親しみ、彩りのある生活へと活かしてほしい。